

読者投稿コーナー
ここ掘れかんかん!

精神疾患をもつ人は、
産める場所がないの？
まさかの連続受け入れ拒否を経験

匿名希望

某政令指定都市在住の精神科看護師

7～8年ほど前、僕の両親との同居生活がスタートしたことを契機に、妻が精神疾患を発症しました。症状は幻視と幻聴（小さな男の子の姿が見えたり声が聞こえたりというもの）がメインでしたが、気分の落ち込みも激しく、カミソリを買い込んでリストカットして入院することもありました。

当時は幼い2人の娘をかかえながら妻に寄り添い、両親との同居も破綻しないようにと神経を使っていました。そんな妻は何年も病院に通いましたが病名は確定せず、その時の症状に対して対症療法的に抗精神病薬や抗不安薬、睡眠導入剤などが結構な量で処方されていました（病名は、「非定型精神病」や「アルコール性精神障害」などになっていました）。

精神症状が比較的安定してきていた4年前、3人目の妊娠を計画しました。主治医にも計画していることは伝え、妊娠したら報告するようにと言われました。抗精神病薬をはじめとした薬は飲み続け

ていましたが、妊娠に備えて減薬してもらいました。そして数か月後、待望の3人目の妊娠が判明しました。産婦人科を受診する時に僕たち夫婦は、精神科に通院していて精神科の薬も内服していることを伝えることにしました。向精神薬のリスクや、産後の精神状態の変化について不安があったからです。しかし、そのことが結果として問題を大きくしてしまうことになりました。

はじめに受診した産科は、娘たちも出産に立ち会えるという理由で選びましたが、受け入れを断られてしまいました。理由は、向精神薬を内服していることと、産後の精神状態の変化に対応できないからということでした。つまり、僕たち夫婦が不安に思っていたことを、産科でも同じように不安に感じており、産後に問題が生じた時に責任が取れない、ということなのでしょう。そこまでは、ある程度僕たちも予測していたことでしたので、落胆はしませんでした。しかし、ここから先に想定外のことが待ち構えていました。

次に受診した病院は、精神科の外来も診療している総合病院の産科でした。精神科を標榜している

ので受け入れてもらえるだろうと期待して受診しましたが、そこでも断られました。理由は、精神科の病床がないため、もし入院中に精神症状が悪化した場合に対応できないからとのことでした。

同じような理由で、市内にある総合病院すべてに断られてしまいました。そのなかには、「周産期母子医療センター」も含まれていました。周産期母子医療センターはハイリスクの妊産婦も受け入れると聞いていましたし、精神科の外来も併設されている病院なので、受け入れてくれるものと思っていました。しかし、僕たち夫婦の期待はあっけなく覆されてしまったのです。政令指定都市に住んでいて、周りには公立の総合病院や大学付属病院などの大規模な総合病院がたくさんあるにもかかわらず、どの病院も受け入れてくれないという現実と直面したわけです。

出産を受け入れてくれる病院が見つからず、2人で途方に暮れてしまいました。妻は、「産まれてきた子どもに奇形や障害があったらどうしよう……」「出産後に精神症状が悪化してしまったらどうしよう……」という妊娠したことへの



不安に加えて、出産を受け入れてくれる病院が見つからないことへの不安が重なり、「妊娠したのが間違っていたのではないかな……」とまで口にするようになりました。

僕たちは、県内外を問わず受け入れてくれる病院を探しました。結果的には、僕が看護師として勤務している施設の系列病院に相談し、同じ県内の総合周産期母子医療センターで受け入れてもらえることになりました。そして、予定日より数日早く、男の子が産まれました。妊娠・出産の経過は順調で、内服などによる障害や奇形も今のところなく、健やかに育ってくれています。

出産後に改めて精神症状を振り返ってみると、生理前になると状態が悪化していたことに気がつきました。今後の妊娠は望まないこともあり、低用量ピルの内服を開始したところ、幻視や幻聴はうそ

のように消えてしまいました。僕の両親との同居によるストレスは続いているものの、現在は睡眠導入剤のみの内服になっています。

★

ここまで長々と僕たちの経験をお話したわけですが、僕には大きな疑問が残りました。それは、「精神疾患をもつ女性が妊娠した場合、どこで産んでいるんだろう」ということです。僕たちが経験したような苦勞をすることなく、出産を受け入れてくれる病院が見つかるのでしょうか。

僕はたまたま自分が看護師なので、系列病院に相談するという手がありました。でもそのような方法がない人はどうしているのでしょうか。受け入れてもらえるように、精神疾患を隠して産科を受診しているのでしょうか。当事者の方たちが通うデイケアなどの施設では、当事者の方が受診・出産で

きる病院の情報を持っているのでしょうか。

現代の日本には、抗うつ薬や抗不安薬などを処方されて内服している女性もたくさんいるはずです。そのような女性が妊娠した場合、受け入れ態勢はどうなっているのか、とても興味があり、今回投稿させていただいた次第です。

【編集部より】 精神疾患をもつ人の出産に関して、同じような経験談や、こうすれば乗り切れるなどの方法をご存知の方がいたら、情報をお寄せください。「VOICE」で引き続き掲載していきたいと思います。

〈編集部より〉あなたの「声」をお待ちしています。

掲載記事に対する感想／著者への手紙／雑誌への意見・提案・取り上げてほしいテーマ・情報提供／「こんな経験をした」「読者の皆さんはどう思う？」など、なんでもOK。掲載分には医学書院特製図書カードを進呈します。実名掲載が基本ですが、匿名の場合はその旨を明記ください。

【投稿方法】

封書、ハガキの場合：〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23 医学書院『精神看護』宛
FAXの場合：03-5804-0485 E-mailの場合：seikan@igaku-shoin.co.jp